

皆さんこんにちは。産業支援課長の神野と申します。

本日はお忙しい中、オープンイノベーションセミナーにご参加くださり、誠にありがとうございます。また、皆様には日頃から本県の産業労働行政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本日のセミナーは、本県が令和6年度中、来年度中に開設を目指しております「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」、これの開設前イベントの、まさに第1弾として行うものでございます。

そこでまずは、「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」、これについて簡単にお話させていただきます。

現在の県内企業を取り巻く環境を見てみますと、少子高齢化による労働力の減少、また、地球温暖化、SDGsへの対応など、企業や社会を取り巻く多くの課題がございます。

また一方で、インターネットやAIなどのDXの進展、これなんかは、ドッグイヤー、犬は7年で1歳、人間の7年で1歳歳をとるということから、非常に早いもので、ドッグイヤーというたとえがございますが、こういった速さで進んでいると。

こういった動きについていく、そして、そうした中で企業や行政が自分たちの課題を解決していくためには、これまでのような、自分たちの組織の中のリソース、知恵や、人材だけではなかなか解決ができない、外からのアイデアや技術が必要になってくるものでございます。

そこで、起業家や様々な業種の企業、支援機関などの多くの人々が交流し、持ち合った知識や技術、アイデアなどを組み合わせ、新しい発想で課題解決を図るオープンイノベーション、これが創出される場として、「(仮称)渋沢栄一起業家サロン」を開設することといたします。

そして、これが開設されて速やかに皆様にサロンがご活用いただけるよう、本日のようなセミナーや、後ほどご紹介しますが、ワークショップなどをイベントとして開催して、県内にオープンイノベーションへの理解を広げて参りたいと考えております。

本日は、先ほどスケジュールにございましたけれども、第一部でオープンイノベーションの必要性やオープンイノベーションを活用した支援方法についてのセミナーを、第二部では、オープンイノベーションに取り組む企業や行政の方々によるトークセッション、その後には名刺交換会を予定しております。

僭越ながら、本日のセミナーが、皆様の企業支援のご参考となれば、大変幸いです。そして、皆様には、県内企業が持つ課題や社会課題を解決するための手法として、オープンイノベーションの活用を、またそのきっかけとしてサロンへのご参加を、ぜひ皆様のご縁のある企業にご

紹介いただければと考えております。

結びに、皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく申し上げます。